

## 標準仕様書

この請負事業に関する仕様書等は次のとおりとする

(1) 造林事業請負標準仕様書

(2) 造林事業請負実行管理基準（造林事業請負標準仕様書内の別添に記載）

(3) 関東森林管理局仕様書

掲載場所： <https://www.rinya.maff.go.jp/kanto/apply/publicsale/keiri/20140423.html>

## 特記仕様書

この請負事業に対する特記事項は次のとおりとする

### 1 放射線障害防止措置

受注者は、「東日本大震災により生じた放射性物質により汚染された土壤等を除染するための業務等に係る電離放射線障害防止規則」（平成23年厚生労働省令第152号）に基づき、除染等業務従事者又は特定線量下業務従事者に対し適切に放射線障害防止措置を講じなければならない。

### 2 CSF（豚熱）

受注者は、CSF（豚熱）の感染拡大防止のため、群馬県におけるCSF対策を熟知して適切な対策に努めること。

### 3 植付

#### （1）「スギ及びヒノキ特定苗木の安定生産・調達に関する協定」の苗木の使用について

（ア）本事業の一部においては、「スギ及びヒノキ特定苗木の安定生産・調達に関する協定」の苗木を使用するので、協定者より苗木を購入すること。

（イ）協定苗の植栽時期は、令和8年度春期（概ね4月から6月）とし、天変地異その他やむを得ない事由がある場合を除き、これ以降の時期に持ち越すことはできない。

（ウ）請負者は協定者と納入時期、場所等について連絡・調整を図ることとし、請負契約の円滑な遂行に努めること。

（エ）苗木の納入方法等は、協定内容の定めに従うこととするが、天変地異その他やむを得ない事由がある場合は、発注者と変更の協議をすることができる。

(2). (ア) 苗木の仕様

樹種	区分	長さ	根元径	適用林小班等	摘要
スギ	コンテナ苗	45cm 上	3.5mm 上	142 た I・II	原則として、花粉症対策苗木とする。
スギ	コンテナ苗	30cm 上	3.0mm 上	154 に I・III、 304 は I・ほ I・ほ II	"
スギ特定苗 (協定苗)	コンテナ苗	35cm 上	3.5mm 上	154 に II	協定者から購入
カラマツ	コンテナ苗	45cm 上	3.5mm 上	157 そ 1 I・II、 362 へ・ち	

(イ) h a当たりの植付本数及び苗木の植付間隔

植付樹種	h a当たりの植付本数	苗木の植付間隔(水平距離)		適用林小班等
		列間	苗間	
カラマツ	2,100 本	2.2m	2.2m	362 へ・ち
スギ・カラマツ	1,500 本	2.6m	2.6m	154 に II, 157 そ 1 I
スギ・カラマツ	2,000 本	2.2m	2.2m	上記以外

※なお、植付は正方形植えを基本とする。

#### 4 忌避剤散布

(1) 薬剤の性状 類白色水和性粘調懸濁液体

(2) 有効成分 ジラム(白色粉末) 32% ジンクジメチルチオカーバメート

(3) 薬剤の効果

- ① ノウサギ・カモシカ・ニホンジカに忌避効果が認められる。
- ② 薬剤は散布後3時間程度で素早く乾燥、また付着性にも優れ、降雨による流出が無く散布した部分の食害を長期にわたって防止する。
- ③ 味覚刺激による食害減退効果がある。

(4) 安全性

- ① 毒物分類 普通物(劇物・毒物・特定毒物に該当しないもの)
- ② 魚毒性 (散布された薬剤が河川湖沼海域および養魚場に飛散または流入するおそれのある場所では使用せず、これらの場所以外で使用する場合も、一時に広範囲に使用しない。散布に使用した器具及び容器を洗浄した水、使用残りの薬液は河川等に流さず、空き袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理する。)

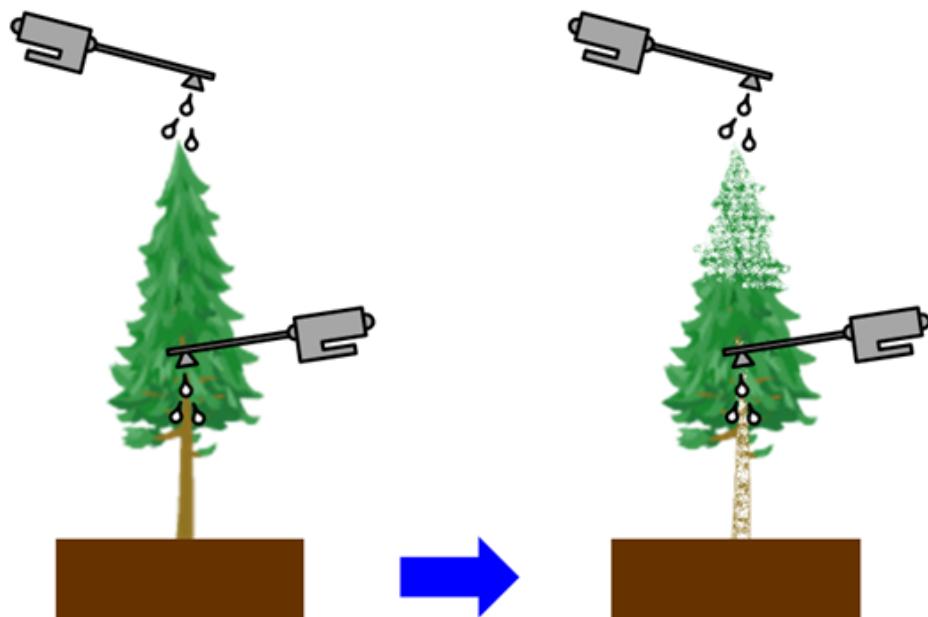
(5) 忌避剤の散布内訳

対象植栽木 樹種名	適用害獣名	原液量 (ℓ)	希釀 倍率	散布面積 (ha)	植栽木 1本当たり原液量	備考
スギ カラマツ	ニホンジカ	7,208	3倍	281.94	5~15 mℓ 事業内訳書のとおり	

※請負者が調達し、使用する前に監督職員の確認検査を受けることとする。

(6) 忌避剤の散布部分

(スギの場合)



(カラマツの場合)



## シカ被害防除単木保護資材 (ネットタイプ・黒色) 仕様図

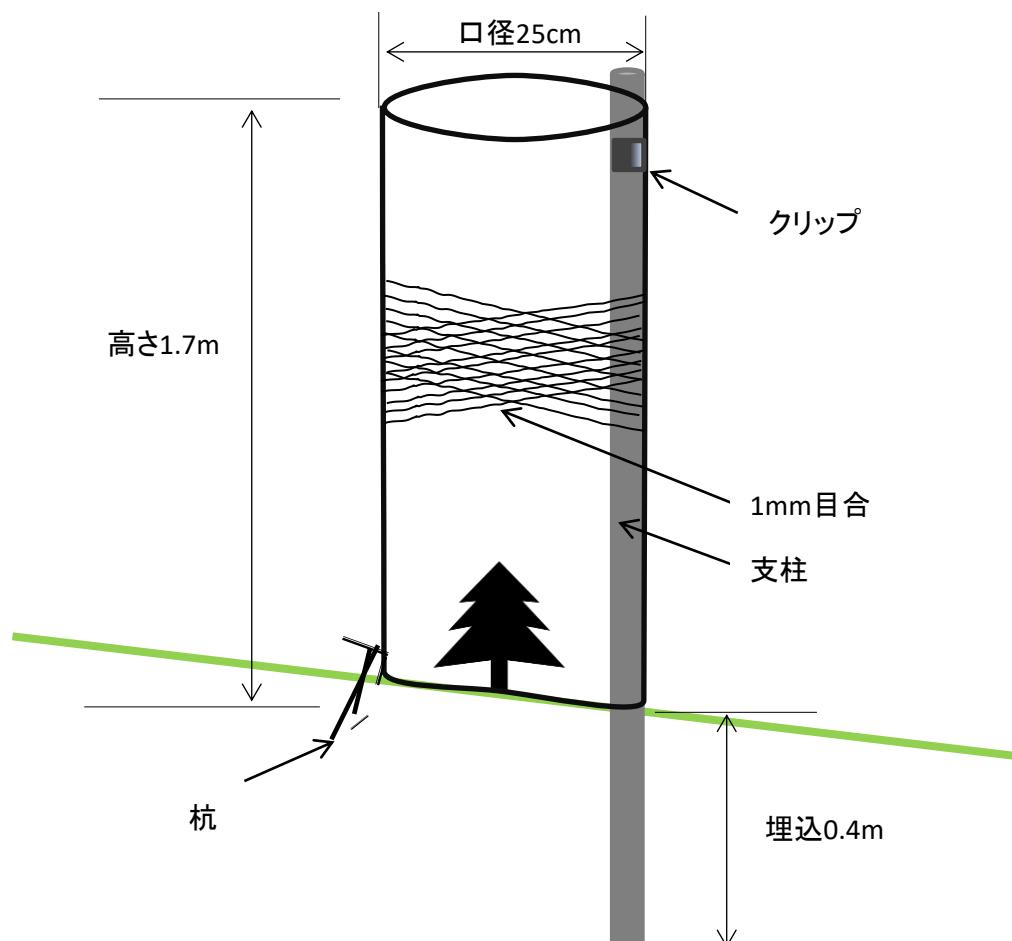
1. 使用する材料の規格及び1セットあたりの材料は下表のとおりとする

品名	材質・規格	数量	備考
ネット	φ 250mm×1.75m 1mm目合 高耐候性ポリプロピレン繊維製 黒色 ※	1	支柱混入済
支柱	φ 8mm×2.1m FRP製	1	ネットに混入済
クリップ	金属製	1	
押え杭	33cm長 竹製	1	

・上記資材は「近江屋ロープ㈱ ソダチーナ」を参考とし、上記の仕様・品質・規格を満たすものとする。

※景観保全の為、ネットの色は黒色を基本とする

2. 作設標準図



3. 作業方法は、使用する製品の取扱作業手順により設置すること。

4. この仕様書に定めのない事項については、監督職員と協議すること。

## 林地施肥仕様書

### 1. 使用肥料（例示品）

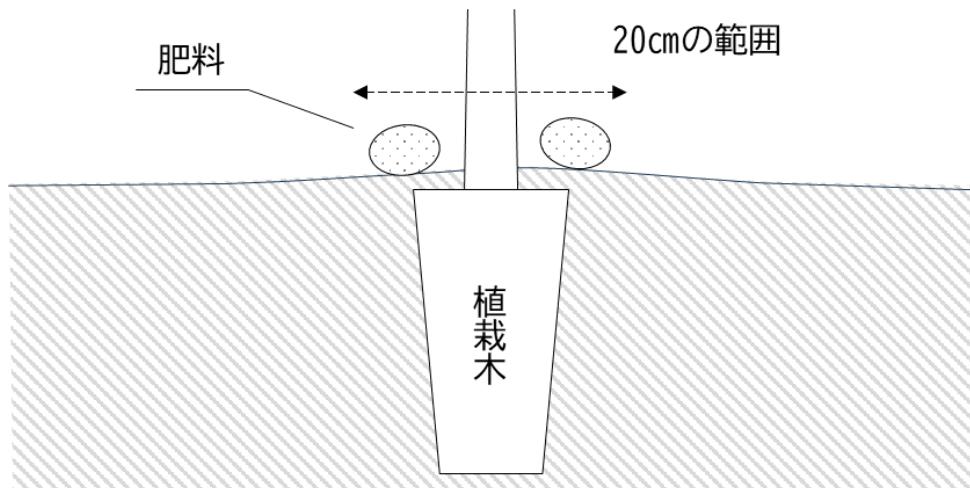
製品名	保証成分（%）	肥効期間	内容量
マウントキングS	N-P-K-Mg=12-6-6-2	2.0～2.5年	15 kg/袋（15g/個）

※ 上記は例示品であり、同等以上の性能を有する他製品の使用を認める。

### 2. 施肥の方法

- (1) 使用する肥料の使用方法等を遵守すること。
- (2) 下図のとおり植栽木1本当たり6個の肥料を、植栽木の根元を中心に20cmの範囲内に概ね等間隔となるよう施肥すること。

また、急傾斜地等で設置した肥料が安定しない場合は、必要に応じて肥料が破損しない程度に踏圧すること。



## 国土強靭化関連事業における工事看板の取扱いについて

次のとおり工事看板に国土強靭化関連事業であることを記載し、地域住民等に対して発信することとする。

### 1 工事看板の記載内容

工事看板に事業内容及び国土強靭化対策事業であることを簡潔に記載する。

#### 記載文章例

健全な森林づくりのため〇〇（植付/下刈/獣害対策/林地施肥）を行っています  
国土強靭化対策事業

※〇〇には当該箇所の作業種を記載

### 2 留意事項

標準仕様書により設置を義務付けしている看板等とは別に、新規で看板を制作することは不要。これまで設置していた看板等に、文章を追加することとする。